

留 学 報 告 書

記入日:2016年6月29日

所属学部／研究科・学科／専攻	情報コミュニケーション学部情報コミュニケーション学科
留学先国	大韓民国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: 高麗大学校 現地言語: 고려대학교
留学期間	2016年2月～2016年6月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2016年6月23日
明治大学卒業予定年	2018年3月
留 学 先 大 学 に つ い て	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:3/2～ 2 学期:9月～ 3 学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	37, 493
創立年	1905 年

留学費用項目	現地通貨 (₩)	円	備考
授業料		円	
宿舍費	200万	20万円	
食費	150万	15万円	
図書費	10万	1万円	
学用品費		円	
教養娯楽費		円	
被服費	20万	2万円	
医療費		円	
保険費	40, 3 万	4万円	形態:大学指定
渡航旅費	80万	8万円	
雑費	20万	2万円	日用雑貨費用
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	520万	52万円	

渡航関連

渡航経路:東京(羽田)ーソウル(金浦)

渡航費用

チケットの種類 _____

往路 4万円

復路 4万円

合計 8万円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

HIS を利用。

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学の宿舎

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数)

3)住居を探した方法:

学校からの案内

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

大学の宿舎ということもあり、また警備もしっかりしている点から、安心して生活できる宿舎です。また、比較的新しいところもいい点です。しかし、山のだいぶ上にあるので、立地的には大学から近いとはいえ、少し大変な部分もあると思います。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

国際センターの方に相談することができました。また、韓国語ができない場合でも、日本語を話せる教職員の方を、はじめのオリエンテーションの時に紹介してもらえるので、その方にも相談することができます。さらに、私たち留学生は KUBA という国際交流サークルに参加するのですが、そこで知り合った現地の学生に相談するのもいいかもしれません。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

在韓日本大使館から、危険情報をメールで受け取っていました。私自身は、幸いそのような経験はしませんでした。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

韓国は基本(特にカフェ)Wi-Fi がどこにでもあるので、パソコン、携帯が繋がらないという心配はありません。また学校、宿舎にも Wi-Fi が通っているので、特に不便することはありません。

5)現地での資金調達はどうに行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現金をいくらか持って行ったくらいで、後はすべてキャッシュカード(日本のもの)を利用していました。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

日本のものはほぼ韓国でも売っていると思うので、特にどうしても買って行かなくてはならない、というものは無いと思います。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

卒業後の進路について

1) 進路

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

※1~3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

(例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

※1~3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
14単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
한일교류의역사	韓日交流の歴史
科目設置学部・研究科	
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	서민교
授業内容	日本の旧石器時代から開港(ペリ-来航の時代)の、韓国との交流史。時代によっては日本、韓国、中国の関係も学ぶ。
試験・課題など	中間試験:なし。代わりにレポート7枚(日本と韓国の問題について) 期末試験:論述2題
感想を自由記入	教授が日本に住んでいた経験があり、また日本史を深く研究していらっしゃる方だったので、私たちが日本で学習していない日本史まで教えていただくことができるとも興味深い授業です。時々、教材として日本語のスライドや、ビデオも流すので、私たち日本人留学生にとっては負担の少ない授業でもあると思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
한국사의재조명	韓国史再照明
科目設置学部・研究科	
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	조형열
授業内容	韓国の旧石器時代から現代史までを学習。
試験・課題など	中間試験:論述2題 期末試験:論述2題
感想を自由記入	教授の話すスピードがとても速く、はじめはとても大変でした。また学習内容も、授業名通り、「再照明」なので韓国史を知っている前提でさらに韓国史を深く学習するので、その点でも大変で、授業前の予習は必須でした。授業内の板書量もとても多く、書ききれない場合は教授に見せてもらえるようお願いをしたり、復習もかかせませんでした。私が春学期に履修した授業の中で一番大変でしたが、ある意味リスニング力もこの授業で上がりましたし、日本では学ぶことのできない韓国史を学ぶことができました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
동아시아속의한국과일본		東アジアの中の韓国と日本	
科目設置学部・研究科			
履修期間	春学期		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に110分が1回		
担当教授	김상준		
授業内容	文禄の役、慶長の役の時代までを、日本史を軸に学習		
試験・課題など	中間試験:なし。代わりにレポート(読書感想文2枚、要約文2枚。映画鑑賞感想文2枚、要約文2枚) 期末試験:論述6題		
感想を自由記入	授業の初めに教授が日本についての面白い話を15分ほどしてから授業が始まります。これは日本でも習ったことのないことであつたり、日本人の私でも知らなかった日本の雑学を知ることができて、授業として面白い授業展開でした。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
한국어중급 I		韓国語中級 I	
科目設置学部・研究科			
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が4回		
担当教授	김민혜		
授業内容	韓国語を学習。主に文法の学習。		
試験・課題など	中間試験:全30問ほどの筆記試験 期末試験:全30問ほどの筆記試験 課題 :個人発表5分のスピーチ チーム発表での動画作成		
感想を自由記入	教授の説明はとても分かりやすく、とてもためになりました。週に4回と少し大変でしたが、予習復習をしっかりすれば、必ず身のためになる良い授業でした。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
학업한국어듣기		学業韓国語リスニング	
科目設置学部・研究科			
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に75分が2回		
担当教授	이연정		
授業内容	教材を使って毎回とにかく問題を解く。ビデオやニュースを見て、単語の書き取りも行う。		
試験・課題など	中間試験:リスニング試験20題ほど 期末試験:リスニング試験20題ほど 課題 :映画を見た感想文とそれに関する自分の体験談のレポート 指定の動画を見て、その要約文のレポート		
感想を自由記入	割と単語レベルが高く、また教授の話すスピードが少し早いのははじめはついていのが大変でしたが、復習、特に、スクリプトを見ながら CD を何度も聞いていくうちに楽しんで余裕をもって授業を受けられるほどにまでなりました。		

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2015年 1月～3月	語学の勉強
4月～7月	協定留学出願、期末試験、語学の勉強
8月～9月	書類作成(高麗大学へ提出するもの)、語学の勉強
10月～12月	書類作成、語学の勉強
2016年 1月～3月	寮の手配、授業申請、オリエンテーション
4月～7月	中間試験、期末試験、フェアウェルパーティー
8月～9月	
10月～12月	
2017年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	中学生の頃に、音楽をきっかけに、韓国に興味を持ち始めました。それから、よく韓国に旅行に行くようになったり、音楽以外の文化にも触れるようになっていたりして、韓国をもっと知りたいと思うようになりました。文化的には日韓の交流が深まる一方、「反日」という言葉もよく耳にします。その言葉を聞くたびに胸が痛み、本当にそうなのだろうか、と疑問に感じはじめ、韓国人目線の日本観を学びたい、さらに韓国の歴史も同時に学びたいと思い、留学を決意しました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	語学の準備はしたつもりでしたが、できるに越したことはありません。留学の直前の直前まで韓国語も英語も勉強することが望ましいです。もう一つは、留学先でとる予定の授業の内容を、日本にいる間に予習しておいたり、内容を軽く頭に入れておくことが大切です。例えば、私は韓国史をとりましたが、細かい韓国の人物もたくさん登場します。その授業で初めて聞くよりは日本で少し知っていた方が、授業をより聞きやすくなります。
この留学先を選んだ理由	大学一年生の頃にも韓国留学を経験しましたが、その留学では韓国に行ったのにもかかわらず、韓国人の友人が一人もできない悔しい経験をしました。だから次に行く際は韓国人と必ず交流でき、また、留学生サポートがしっかりしているという点を重視してこの大学を選びました。
大学・学生の雰囲気	明治大のように、どの学生も明朗で活発な方が多く、学祭の時はとても楽しい雰囲気でした。キャンパスもとても広大でのびのびと過ごせます。その一方で授業ではものすごく真剣に集中して講義を聞いていて、さらにどの生徒も自分の意見を持っていて、その意見を発表したり、質問も積極的にしている印象がありました。
寮の雰囲気	外国人の寮にいたので、まさにグローバルな雰囲気でした。各階にキッチンや、食事もとれるスペースや、ソファが置いてあったり、何人かで集まって話したりすることもできたので、自分の部屋にこもりっきりにならず、良いと思います。ピアノやジムも設置されており、寮としての役割以上の環境でした。
交友関係	大学から一人の派遣ということもあり、韓国一日目は友達がおらず、心細かったです。ルームメイトに日本人がいたこともあり、それからほとんど交友関係は広がりました。また、留学生支援サークルで現地の大学生と交流する機会が週に三回もあり、そこで韓国人だけでなく、様々な国の人と関係を築くことが出来ました。
困ったこと、大変だったこと	困ったことは特にはないのですが、語学面で本当に苦労しました。韓国語も英語も完全でないまま、留学初日を迎えてしまったので、うまくコミュニケーションが取れずに、苦労しました。オリエンテーションや、中には英語留学で留学しに来ている学生もいたので、韓国語だけでなく英語も韓国語と同じくらい勉強していくことが望ましいと強く感じました。
学習内容・勉強について	私は留学を決意した理由のところでも述べた通り、韓国の歴史に興味があったので韓国史や、韓国人視点で日本を学べる日本史関連の授業も受講しました。当たり前のことですが、予習復習は必ずやりました。母国語でない授業は確かに大変ですが予習と復習さえしっかりすればテストも含めしっかりこなすことが出来ました。また、どうしても時は現地の友人になった韓国人にすぐに質問するようにはしていました。
課題・試験について	上記でも述べましたが、普通の授業をしっかりしていれば特に課題が大変だということはありませんでした。しかし量は想像以上に多いので早め早めに少しずつというように計画的にする必要がありました。5月は期末試験も中間試験もありませんでしたが、課題をこなすために、なかなかまとまった自由時間をとることはできませんでした。
大学外の活動について	大学外での活動はしていませんでした。
留学を志す人へ	留学中、学祭もあり、楽しいイベントが4か月という短い期間の中にたくさんあります。それと同様に、授業についていきづらくなったというスランプが重なったとき、つい楽しいほうへ逃げたくなる時が誰にでもあると思います。しかしそのスランプを乗り切らなければ、留学に行く前に決めた自分の目標は達成できなくなってしまうので、楽しいこともしつつ、勉強もそれ以上に一生懸命することが留学では、一番大事だと思います。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中		授業		授業		KUBA	勉強 or 遊び
						KUBA	
午後	授業	勉強	授業	勉強	授業	KUBA	
	授業	勉強	授業	勉強	授業	KUBA	
夕刻	授業	授業	授業	授業		KUBA	
夜				KUBA(留学生交流サークル)			

